

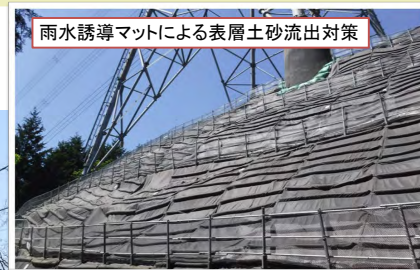


優秀賞

C-Tech



KODOBOKU技術を活用した現場施工例



雨水誘導マットによる表層土砂流出対策



鋼製シガラ設置状況



ストーンバッグによる流末処理



食害を受けにくいアセビの植樹

電力分野

送電鉄塔の保守から生まれた 小土木（KODOBOKU）技術

取組概要

近年、異常気象による集中豪雨により自然災害が頻発しており、尾根上や山腹に建つ送電鉄塔においても、脚部浸食や法面土砂流出等が発生している。加えて、ニホンジカの繁殖により敷地保護用植栽等の食害も進展している。これらの問題を解決するため、軽量・高耐久性素材の使用や食害を受けにくいアセビ等により、重機を使わず人力で容易に施工できる各種の敷地保護工法を開発してきた。これらの工法は、送電鉄塔以外の種々の分野で幅広く活用できるものとする。

受賞理由

山間部に立つ送電鉄塔の基礎地盤の崩壊を防止し、保全するための技術として開発された「ストーンバッグ」「鋼製しがら」「雨水誘導マット」等は、重機を使わず、人力による可搬性に優れたものである。非常災害発生時における応急復旧用資材としても期待される点が評価された。

取組のポイント

今回開発した「ストーンバッグ」・「鋼製しがら」・「雨水誘導マット」は、山地部でも人肩運搬できるうえ簡単な工具で設置が可能であり、現場の状況に応じて組み合わせて使用して、雨水の流速を緩め、分散排水することで、早急かつ安価に敷地保護対策を実現でき、更に仮設道路が不要のため環境にも優しい。

また、ツツジ科の「アセビ」は、ニホンジカの食害を受けにくく、常緑低木樹で管理も容易であるため、緑化用の植栽として有望である。国内の苗木生産量は限定的で、入手は非常に困難であったが、地元造園業者の協力を得て、育成ノウハウを習得し、ポット苗の量産化を達成した。

受賞者について



受賞者

株式会社シーテック	山下 達己
株式会社JOUCA	水谷 重光
株式会社ダイカ	上久保 大輔
アサヒハケ株式会社	松下 正英
農事組合法人萩野園芸	萩野 明男

コメント

この度は、優秀賞という大変名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。山岳地送電鉄塔の保守の厳しい現場において皆の創意工夫から生まれたKODOBOKU技術、これからもこの技術の拡充に努力し、環境にやさしい技術をお客さまに提案することで持続可能な社会の構築に向け貢献します。

団体概要

当社は、毎日の暮らしに欠かせない電力網や通信網のインフラに関わり、人々の暮らしや社会を支え続けています。

調査・設計、新設・改修工事を一貫して施工すると共に、日々のメンテナンスを通じて最適な設備計画の提案、安全かつ効率的な工法の提案に取り組んでいます。

問い合わせ先

名古屋市港区大江町3番地の2
株式会社シーテック 電力本部
営業部 営業第2G
TEL 052-613-4437